

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・造形表現Ⅰ	演習	1	小林 伸雄・佐藤 有紀・井ノ岡 里子
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 造形活動で用いる画材や素材のそれぞれの特質を味わい、活動そのものの楽しさを体験する。また固定概念にとらわれず新しい視点をもつことにより、素材そのものの特質を活かし自ら積極的に造形活動を発展させる力を養うことを目標とする。			
<b>【授業の概要】</b> 実習形式で行う。保育の現場に必要な絵画技法を実践し、いくつかの平面作品を制作する。自らの活動を通して表現の意味を考えながら子どもの造形表現について学び、保育の現場に必要な造形活動の基礎的知識や技能を身に付ける。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ガイダンス 造形活動の環境と道具・素材について			
2. 子どもの絵画表現について			
3. 平面技法①(水彩絵の具 にじみ絵)			
4. 平面技法②(切り絵:下絵・カッティング)			
5. 平面技法②(切り絵:カッティング・仕上げ)			
6. 平面技法③(水彩絵具 あわせ絵・糸引き絵)			
7. 平面技法④スタンプング			
8. 平面技法⑤はじき絵			
9. 平面技法⑥和紙染め・マーブリング			
10. 平面技法⑦ウォッシング(下絵・着彩)			
11. 平面技法⑦ウォッシング(墨塗り・乾燥・ウォッシング)			
12. 平面技法⑧紙版画(版作り)			
13. 平面技法⑧紙版画(版刷り)			
14. 平面技法⑨フィンガーペインティング			
15. 応用作品制作 まとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方: 授業で用いる用具、素材の事前準備			
学習のあり方: 積極的に造形、制作活動を行い、創意工夫を試みる。			
復習のあり方: 授業で体験した制作活動を振り返り、保育・教育での生かし方を考察する。			
<b>【成績評価】</b>			
提出物(70%) 授業態度 (30%)			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
作品に対しての寸評によるアドバイスをを行う。			
<b>【テキスト】</b>			
授業時に配布する。			
<b>【参考文献】</b>			
授業時に紹介する。			